

第1回北海道産業振興条例あり方検討部会まとめ (中小企業競争力強化促進事業費補助金)

1. 北海道産業振興条例事業の課題

- ・競争倍率(採択件数/申請件数、採択額/申請額)は1倍以上あるものの、申請件数等は減少傾向にある。
- ・補助メニュー間で競争倍率に格差がある。
- ・アドバイザー等招へい事業、産業人材育成事業が低迷している。
- ・競争倍率は国の類似補助制度(ものづくり補助金等)に比べて低い。

2. 第1回検討部会での主な意見

- ・ 企業の人材不足に対応するため、「省力化」や「生産性向上」に資する支援事業が欲しい。
- ・ 補助金の存在自体を知らない企業もあると思われることから、情報を幅広く周知する方法を検討すべき。
- ・ 利用しなかった理由を調査し、どうすれば解決するのかをテーマにすべき。
- ・ 企業が苦手としている申請書作成について、ポイントなどを無料で相談できる窓口を設けてほしい(申請期間が短いので、あるとスムーズに作成できる)。
- ・ 企業の申請ニーズに応えるため、半年単位あるいは3分の1単位など計画的な申請期間を設け、そこから1年サイクルで支援する仕組みを講じるべき。
- ・ 1次募集は○件まで、2次募集は○件までと採択件数の上限を明確にして欲しい。
- ・ 研究開発など事業化に対してリスクの高い事業については、現行の補助率を上げてほしい。
- ・ 人件費も補助対象経費にすべき。